

## ▶ 第6章

# 中国の北東アジア地域戦略の変容

福島大学 教授

朱 永浩

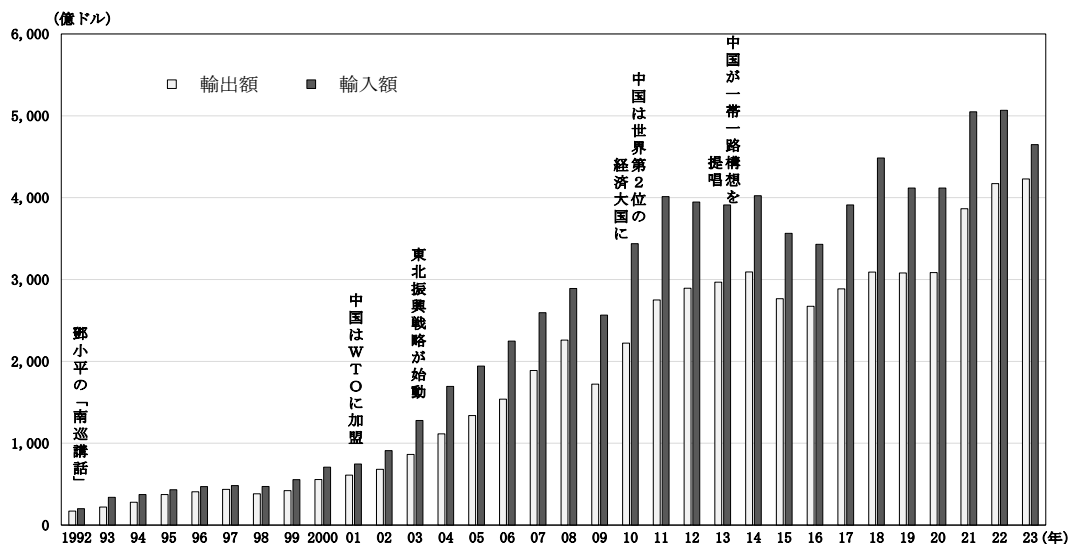
### 【ポイント】

- 習近平時代の中国は積極的な対外政策を展開し、「中国の特色ある大国外交」「中国の夢」を推進している。北東アジア地域においても、中国は経済的・軍事的な強国としての地位を追求し、国際的な影響力の拡大を図っている。
- 米中関係はデカップリングからデリスキングへと変化しながら対立が続いている。一方で、中国はロシアとの政治的・経済的な連携を強化している。両国は共通の政治的利益や立場を持ち、今後も経済連携を深めていくであろう。
- 中国は一带一路構想を通じて北東アジアとの経済的な連携を強化し、インフラ整備や投資・貿易の拡大を促進することで地域経済の活性化を図っている。しかし、国際情勢の変化や、北朝鮮の不確定要素、日本・韓国との関係などによっては課題も存在する。



注目データ

中国の対北東アジア貿易額の推移（1992－2023年）



注：対北東アジア貿易額は日本、韓国、北朝鮮、ロシア、モンゴルとの輸出入額を指す。輸出額はFOB（本船渡し価格）、輸入額はCIF（保険料、運賃込み価格）

資料：1992－2022年はIMF Direction of Trade Statistics、2023年は中国税関総署より作成